

## Ⅳ 2000年度総合人間科の取り組み

### 中学1年生

## 生き方を探る ～出会いから学ぶ～

原 順 子・今 村 敦 司  
飯 島 幸 久・木 下 雅 仁  
大 口 悦 子

**【抄録】** 身近な人から遠い人へ出会いを広げながら、様々なコミュニケーションスキルを反復学習によって学ぶ。学んだことを6年間の総合人間科の基礎とし、これから始まるキャリア形成に活かす。

**【キーワード】** 生き方 出会い 世代 職業 フィールドワーク コミュニケーションスキル

#### 1. はじめに

中学1年生は思春期前期という発達段階で、これから自分の考えや行動を広げよう、深めよう、とする時期である。この時期のキャリア教育は、どんな職業があるか知ることと、職業に興味を持つことが目標になると考える。また、キャリアを広義に「生き方」と捉えると、これまで本校で進めてきた総合学習はまさしくキャリア教育である。今回はこれまでの総合人間科に「職業興味形成」という視点を加えて実践した。

#### 2. 目標

- ・様々な年齢や立場の人から、ものの見方・考え方を聞き、大人の生き方に触れる。
- ・中高一貫6年間の入り口として、総合人間科の学習方法の基礎・基本を知る。
- ・総合人間科で得た体験をこれからのキャリア形成に活かす。

#### 3. 学習方法と指導体制

- ・学習方法は個人学習が中心。3回の出会いを設定し、フィールドワークとしてインタビュー活動を行う。個人学習といえども学級単位で2回の発表会を行い、質疑応答・感想文の交換をして学び合いの機会も設ける。
- ・指導体制は学年団5人による集団指導。研究部の教官が中核となり、年間計画及び授業に使用するプリント類を作成。それを基に学級単位で正・副担任が指導する。

#### 4. 学年テーマとキャリア形成

##### (1) 幅広い年齢層から話を聞いて、キャリア形成に

##### 活かす

##### ① 1回目 級友の保護者から話を聞く

初めてインタビューするのは級友の保護者。学級担任が男女別・名列順に二人組のペアをつくる。そのペアは互いの家を訪問しあい、招いてくれた級友の保護者に自分で考えた質問をする。

##### ② 2回目 祖父母（またはその世代）から話を聞く

2回目は保護者より上の世代を対象に、生徒にとって身近な「上の世代」である祖父母（またはその世代の知人）にインタビューをする。祖父母が遠くに住んでいる場合もあるので、夏休みのフィールドワークとして実施する。

##### ③ 生徒の質問例（2回に共通する質問事項）

- ・今の中学生をみてどう思いますか。中学生に言いたいことがありますか。
- ・あなたが子どものころと、今の子どもの違うところはどこですか。
- ・今、一番楽しい事はなんですか。
- ・これまでで一番辛かったことはどんなことですか。
- ・尊敬する人は誰ですか。その理由は。
- ・一番大切なものは何ですか。

##### (2) 興味のある職業に就いている人、興味のある活動をしている人から話を聞いて、キャリア形成に活かす

##### ① インタビューする相手を探す

これまで2回のフィールドワークと違い、3回目はインタビューする相手を探すことから生徒の活動が始まる。将来自分はどんな職業に就きたいのか、興味のあることは何なのか、どういう人から話を聞きたいのか、と職業や生き方を意識し

て、自分に問いかけながら話をしてくれる人を探して行く。手段は電話帳で調べて電話する、教官・保護者の協力を得て知人を紹介してもらい、などである。

- ②「仕事・活動内容」だけでなく、「生き方」を聞く  
自分の興味のある職業・活動の概要を知ることが大切なことであるが、「職業調べ」だけに終わらないように、過去2回でしたような「その人の人となり」に触れられるような質問もする。初対面なので失礼のないように気をつける。

**(3) コミュニケーション・スキルを学び、キャリア形成に活かす**

- ① インタビューする相手とコミュニケーションを

とる

3回のフィールドワークの度に相手とコミュニケーションをとる方法を反復学習する。ここでいうスキルとは、電話のかけ方・手紙の書き方・交通経路の調べ方・質問したいことのまとめ方、である。

- ② フィールドワークの体験を学級で発表しあい、学び合う

2回の発表会で生徒同士は、自分の意見をわかりやすく人に伝えるスキルと、人の話を聞き、相手は何を伝えたいか聞き取るスキルを学習しあう。同時に質問の仕方、答え方というスキルも学び合う。一人の発表に他の39人が感想を書き、交換してお互いに評価もし合う。

**5. 1年間の活動内容**

| 授業日       | 時限         | 学 習 内 容  | 備考 (教具など)           |
|-----------|------------|--|---------------------|
| 4/15 (土)  | 3 限        | 学年テーマ・年間計画発表～教科の概要を知る                                    | 授業参観                |
| 4/20 (木)  | 5 限        | 遠足 (名古屋市科学館) の交通経路・費用を調べる                                | 時刻表・パンフレット          |
| 5/11 (木)  | 5 6 限      | ①遠足交通手段経路の決定<br>②手紙 (依頼状・お礼状) の書き方を知る                    | 手紙の文例               |
| 5/25 (木)  | 5 6 限      | ①遠足事前指導<br>②級友の保護者へ依頼状を書く                                | 学年指導                |
| 5/26 (金)  | 終 日        | 遠足 (自宅から科学館まで現地集合・現地解散)                                  |                     |
| 6/1 (木)   | 5 6 限      | 第1回フィールドワーク (友達の保護者に聞く) の準備・交通費・経路の確認・質問を考える             |                     |
| 6/15 (木)  | 午 後<br>午 後 | 第1回フィールドワーク  | 評価用紙                |
| 6/17 (土)  |            | ・級友の家を訪問し、保護者にインタビューする<br>フィールドワークその2 15日に訪問された方が訪ねる     |                     |
| 7/5 (水)   | 4 限        | 級友の保護者にお礼状を書く  |                     |
| 7/12 (水)  | 4 限        | 第2回フィールドワーク (祖父母に聞く) の準備<br>・正しい電話のかけ方を知る・依頼状を書く         | ポスタルガイド<br>公衆電話     |
| 夏休み       |            | 第2回フィールドワーク (祖父母に聞く)                                     | (評価用紙)              |
| 9/7 (木)   | 5 6 限      | 第1回・第2回フィールドワーク のまとめと発表準備                                | B紙・画用紙              |
| 9/28 (木)  | 5 6 限      | 祖父母にお礼状・発表用プレゼンテーション・原稿を書く                               | ポスカ                 |
| 10/5 (木)  | 5 6 限      | フィールドワーク発表会  | プレゼンタータ             |
| 10/12 (木) | 5 6 限      |  |                     |
| 10/26 (木) | 5 限        | 第3回フィールドワーク (興味ある職業の人に聞く) の準備                            | 電話帳                 |
| 11/4 (木)  | 5 限        | ①フィールドワーク先を決める (電話で申し込み承諾を得る)                            | 保護者の紹介状             |
| 11/9 (木)  | 5 限        | ②依頼状・宛名を書く<br>③交通経路・費用を調べる<br>④仕事・活動内容について調べる<br>⑤質問を考える | パソコン<br>図書室<br>視聴覚室 |
| 11/16 (木) | 午 後        | 第3回 フィールドワーク   | 評価用紙                |
| 12/7 (木)  | 5 6 限      | お礼状を書く・フィールド・ワークのまとめと発表準備                                | 紙・画用紙               |
|           |            | 冬休み  | 発表準備の完成             |

|          |       |                   |                         |
|----------|-------|-------------------|-------------------------|
| 1/11 (木) | 5 6 限 | フィールドワーク発表会       | 授業参観<br>プレゼンター<br>ビデオTV |
| 1/15 (月) | 2 限   |                   |                         |
| 1/25 (月) | 5 6 限 |                   |                         |
| 2/8 (木)  | 5 限   | 研究集録の下書き          |                         |
| 2/15 (木) | 5 限   |                   |                         |
| 2/21 (木) | 5 限   | 研究集録の本書き          |                         |
| 3/8 (木)  | 5 限   | 研究集録を読み合う・一年間のまとめ |                         |

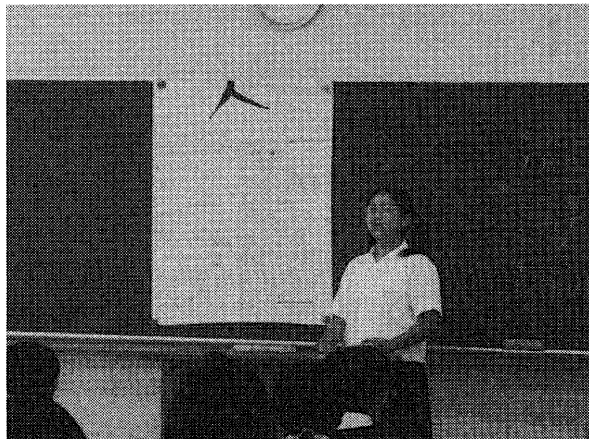
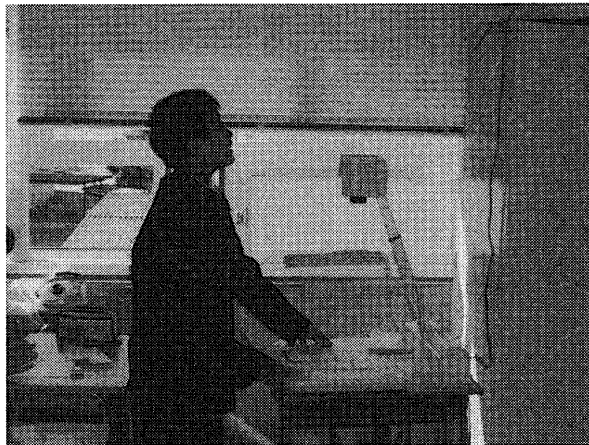
木曜日6限(LT)を総合人間科にした場合は月曜日2限(生活)と振り替え

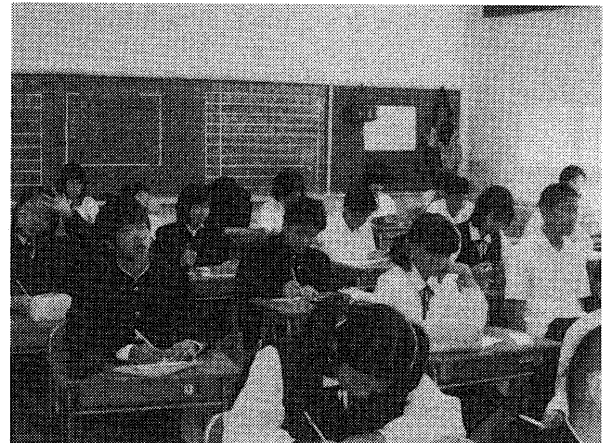
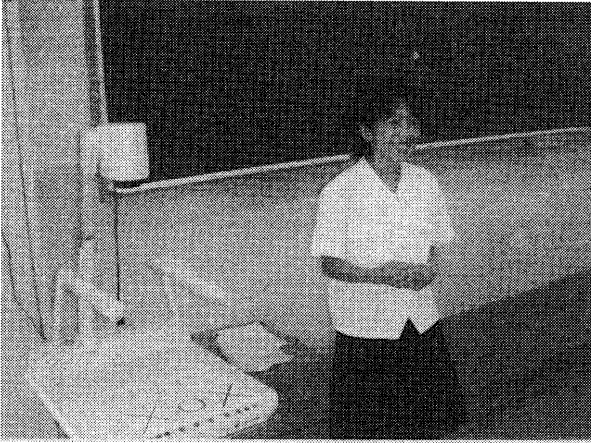
## 6. まとめと今後の課題

- ・身近な人から遠い人へと、段階を経ていろいろな話を聞くこの取り組みは、キャリア形成が始まるこの時期に有意義でかつ無理がなく、一段階ごとに視野を広げ、学んでいくことができる。
- ・コミュニケーション・スキルを繰り返し学習することで生徒は自然にスキルを身に付けていくことができる。反復学習はスキルを学ぶのに有効である。
- ・課題は3回目のフィールドワーク先を確保する事である。今年はフィールドワーク先探しに苦勞している生徒を対象に保護者の協力を仰いだ。短い期間でも多くの協力者を得たが、生徒も同時に自力で探したため、協力者の所へ行く生徒は少なく、好意を活かし切れなかった。次年度は生徒の興味のある職

業・活動を3回目のフィールドワークの前に調べ、スクールボランティアを含めた保護者の協力をより多く活かすと良い。

- ・前2回のフィールドワークは知人であり、気軽にしかし普段とは違って「生き方」を意識して異なる世代の人から話を聞くことが目的。3回目は興味のある職業(活動)の人ではあるが、初対面である。生徒は自分の興味のあることを絞り、初めて合う人にもその内容だけでなく、その人の生き方に触れるようなことまで質問をする。目的は職業(活動)人の生き方に触れることであるが、前2回と比べると職業(活動)に焦点を当てているところが難しい。フィールドワークの前に一般的な社会に出てからの職業や活動について話を聞く機会があると、一層フィールドワークが生きる。





第3回 フィールド・ワーク先一覧

| 職業等       | 訪問先            | 職業等       | 訪問先                |
|-----------|----------------|-----------|--------------------|
| 障害者支援     | みこころセンター       | 福祉関係で働く人  | 愛知福祉会館             |
| 介護士       | 介護老人保健施設「みず里」  | 小学校の先生    | 豊田市立井上小学校          |
| 保育士       | 大法寺 愛児園        | 医師        | 国立名古屋病院            |
| バレリーナ     | 松本道子バレエ団       | 芸術家       | 吉田和市さん宅            |
| ツアーコンダクター | 郵船トラベルK. K.    | 白血病の医師    | 名大病院内科医務局          |
| 看護婦       | 名大付属病院         | 鉄道員       | J R名古屋駅            |
| パイロット     | 名古屋空港          | テレビ局で働く人  | NHK名古屋放送局          |
| コピーライター   | 電通             | アナウンサー    | NHK名古屋放送局          |
| 解剖医       | 藤田保健衛生大学第一解剖科  | バンドをしている人 | ライブハウス「ハートランド」スタジオ |
| 野球選手      | 中日ドラゴンズ球団事務所   | 日本料理調理師   | 懐石料理味落梨本           |
| 獣医        | 東山動物園動物会館      | 福祉で働く人    | 中川区社会福祉協議会         |
| 警察官       | 千種警察署          | シンガー・ライター | アーバンライフスタジオK. K.   |
| 小学校の先生    | 名古屋市立伝馬小学校     | 看護婦       | 日比野クリニック           |
| 考古学者      | 名大文学部人文学科考古学教室 | 水族館飼育員    | 名古屋市水族館            |
| ダンサー      | 高蔵寺サンマルシェ      | 美容師学校の先生  | 中部美容専門学校           |
| 校長先生      | 瀬戸市立深川小学校      | エレクトーンの先生 | ヤマハK. K. 名古屋支店     |
| 学習塾の先生    | 河合塾豊橋校         | ピアノ調律師    | 自宅                 |
| 小学校の先生    | 名古屋市立松栄小学校     | 愛知県議会議員   | 県議員会館              |
| 教育学部心理学者  | 名大教育学部心理学科     | せんべい職人    | 大須「朝日軒」            |
| 生物学者      | 名大農学部資源生物環境科   | 弁護士       | 名古屋第一法律事務所         |
| 自衛隊員      | 守山自衛隊駐屯地       | 造形教室の先生   | 学生センター             |
| 弁護士       | 長縄法律事務所        | 建築家       | アール・アンド・エス設計工房     |
| 図書館司書     | 緑図書館           | 弁護士       | 名古屋南部法律事務所         |
| プロサッカー選手  | 名古屋グランパス豊田練習場  | ホテルマン     | ホテルキャッスルプラザ        |
| 獣医        | 黒川動物病院         | 美容師学校の先生  | 中日美容専門学校           |
| 交通機動隊の警官  | 県警察本部第一交通機動隊   | 学芸員       | 徳川美術館              |
| ギターの先生    | 山口直樹ギター教室      | 調理師学校の先生  | 日えい調理専門学校          |
| スチュワーデス   | 全日空名古屋空港支店     | 郵便局員      | 千種郵便局              |